事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要											
氏名又は名称				株式会	社ユウワ						
代表者名	氏	:名	渡辺稔		役職名	代表取紹	帝役社長				
主たる事務所 の所在地			長野県小諸市西原700-1								
主たる事業	大约	分類			E 製造業						
の分類	中分	分類	18 プラ	スチック	製品製造	業(別掲を除く)					
主たる事業 の概要	小型	!精密プラスチッ	情密プラスチック金型及び成形								
		条例第12条第1	第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者								
制度に該当する		条例第12条第1	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者								
要件		条例第12条第1	ら 例第12条第1項第2号に該当する事業者								
		上記以外(任意	意提出)の事業者	¥ i							
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年	E 度報告	第二年度報告	第三年度報告				
原油換算エネル ギー使用量	k1	1, 396. 93	1, 327. 08								
エネルギー起源二酸 化炭素排出量	t- CO ₂	2, 802. 12									
調整後 排出量	t- CO ₂	64. 56	50.00								
その他ガス 排出量合計	t- CO ₂										
自動車の台数	台	10									
自動車からの 排気ガス合計	t- CO ₂										

2	基準年度、	計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022	年度	計画期間	2023	年度~	2025	年度
報告対象		年度					

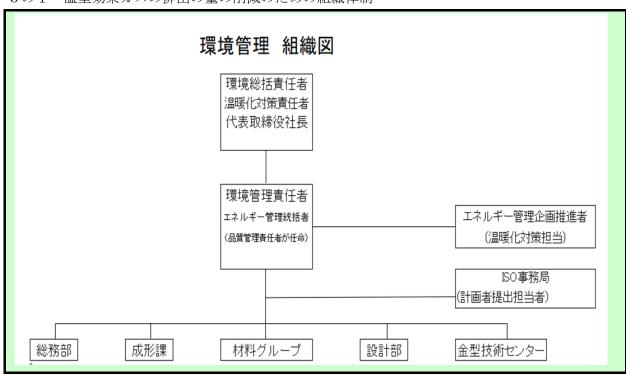
3 計画書(報告書)の公表方法等

	ホームページ	下記にて保管し請求があった場合に開示
•		保管場所、請求先・総務部総務課 TEL:0267-25-8001
	その他	8:10~17:00

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

株式会社ユウワが行う活動、主要製品である情報通信関連製品や車載製品に組み込まれるプラスチック成形品の生産活動、製品及びサービスが、環境に与える影響を明確にする。同時に環境影響の改善ならびに環境汚染の予防を推進するために、環境マネジメントシステムを確立し、継続的改善を進める。環境関連の法律、条例を守ることはもとより、受け入れを決めたその他の要求事項の順守に努める。株式会社ユウワが行う活動、製品及びサービスが環境に与える影響の中で、特に以下の項目について取り組む。 ①電気などの省エネルギー化の推進 ②廃プラスチックなどの産業廃棄物の低減 ③化学物質・環境負荷物質の使用抑制と代替化の促進 ④光類などの省資源化の促進 ⑤地域周辺の美化活動と生物多様性の配慮 ⑥その他活動、製品及びサービスの中で目標とした環境側面の改善活動環境負荷の低減に向けた取組みを考案に実行するため、環境目標を定める。この目標は「マネジメントレビュー」により定期的に見直す。環境教育やミーティングなどを通じて、全従業員の環境方針の理解と環境に関する意識の向上を図るとともに、当社のために働く人に対しても環境方針を周知し、理解と協力を要請する。										
2050ゼロカー	ボンに	こ向けた	た中長	期的な	目標等	至				
目標等の有無	無	目標	年度			年度	削減目標			
削減計画 の概要										
イニシアチブ 参画状況		SBT		RE100		再エネ RE Ac	×100宣言 tion		その他	

5の1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5の2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

マネージメントレビューを年に1回行い環境方針の見直しを行い展開 安全パトロールのチェック項目に排出抑制のためのチェック項目を追加し月に一回パトロール 6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

6の1 エネル	/ギー起源二酸化炭素	系の俳単の重り	/削/ / / / / / / / / / / / /	-徐る日悰及い夫徒			
基 準 年 度	基準排出量	2, 802. 12	t-CO ₂	売上高	63. 88	単位	億円
2022 年度	調整後排出量	64. 56	t-CO ₂	基準原単位	43. 87	t-CO ₂ /	億円
目標年度	目標排出量 (調整後排出量)	50.00	t-CO ₂	目標原単位	0.88	t-CO ₂ /	億円
2025 年度	目標削減率	98. 21	%	目標削減率	98. 00	%	
目標設定に 関する説明	自家消費用の太陽 原単位の削減を目 電力は"信州Green 灯油の使用分のみの	指す。 でんき"の利用	を100%	で行うため			
第一年度	排出量		t-CO ₂	売上高		単位	
第一年度 	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
2023 平度	削減率		%				
排出量等の 増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂	売上高		単位	
,,, , , , , , , , , , , , , , , , , ,	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
, , , , ,	削減率		%				
排出量等の 増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	売上高		単位	
郑二千 及	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
2020 千尺	削減率		%				
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由							

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

6002エイルキ	一起你一般化灰条以外仍	温室効果ガスの排出の量の削減に	.徐る日悰及 <u>い夫領</u>
基 準 年 度	基準排出量	t-CO ₂	単位
2022 年度	調整後排出量	t-CO ₂ 基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度	目標排出量	t-CO ₂ 目標原単位	t-CO ₂ /
2025 年度	目標削減率	% 目標削減率	%
目標設定に 関する説明			
第一年度	排出量	t-CO ₂	単位
另一十段	削減率	% 原単位	t-CO ₂ /
2023 年度	調整後排出量	t-CO ₂ 原単位削減率	%
2023 平度	削減率	%	
排出量等の 増減理由			
第二年度	排出量	t-CO ₂	単位
<i>31—1</i> 12	削減率	% 原単位	t-CO ₂ /
2024 年度	調整後排出量	t-CO ₂ 原単位削減率	%
2021	削減率	%	
排出量等の 増減理由			
第三年度	排出量	t-CO ₂	単位
炉 二十戌	削減率	% 原単位	t-CO ₂ /
2025 年度	調整後排出量	t-CO ₂ 原単位削減率	%
2020	削減率	%	
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由			

6の3 自動車	この使用に伴う二酸化炭	炭素の排出の量の削減に	こ係る目標及び実績	貴
基準年度	基準排出量	t-C0 ₂		単位
2022 年度	調整後排出量	C CO2	基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度	目標排出量	t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /
2025 年度	目標削減率	%	目標削減率	%
目標設定に関する説明				
第一年度	排出量	t-C0 ₂		単位
为 干区	調整後排出量	0 002	原単位	t-CO ₂ /
2023 年度	削減率	%	原単位削減率	%
排出量等の 増減理由				
第二年度	排出量	t-C0 ₂		単位
第二十 段	調整後排出量	t 002	原単位	t-CO ₂ /
2024 年度	削減率	%	原単位削減率	%
排出量等の 増減理由				
第三年度	排出量	t-C0 ₂		単位
为一十 区	調整後排出量	t CO ₂	原単位	t-CO ₂ /
2025 年度	削減率	%	原単位削減率	%
			<u> </u>	

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
$I \sim \Pi$	I -1	燃料使用量等の定 期的な把握						
1 11	I -2	エコドライブの励 行						
Ш	Ш-1	次世代自動車の導 入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導 入						

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

					計画	状況		
番号	区分	設備等	対策内容	実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)	
1	エネ 起	空調機	運転時間、ファン動力の軽減対策 空調運転時間の見直し	2023~ 2025	2			
2	エネ 起	一般管理事項	主要機械保全計画、管理	2023~ 2025	2			
3	エネ 起	照明設備	照明機器具及びランプの適正な選 択	2023~ 2025	1			
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	625	0			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書 非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
Jークレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年	126	260			
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年	6, 097	使用電力の 100%			
うち県内産	千kWh/年	6, 097	使用電力の100%			

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
(原油換算エネルギー使用量)	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	1	2, 802. 12						
合計	1	2, 802. 12						

12 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH_4				
N_2O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF_3				
合計				

13 次世代自動車の導入状況

(台)

				(1)
自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイ ブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼ ル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	6			
合計	6	0	0	0
自動車総数	10			
次世代自動車導入 割合	60			

14 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関 の利用促進	会社近郊徒歩圏内に公共機関がないため実施なし。
自 転 車の利用促進	ベトナム実習生約20名自転車利用
来客者の交通対策 / 社 用 車 等 の 移 動 に 伴う取 組	特になし
電気自動車用充電 設備の設置 /電気自動車の導入	特になし
物流の合理化	特になし

15 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細			
		実施内容			
	SDGs	長野県SDG s 登録制度へ登録している	2021年度		
	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) 支持を表明している			
•	環境マネジメントシス テム	環境マネジメントシステムを導入している	2002年度		
		名称 IS014001			
	グリーンボンド・ESG 投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している			
	ZEB	の認証を取得している			
	ディマンド・リスポン ス(DR)	電気の需要の最適化に資する措置(上げDR・下げDR)を実施している			
	その他				

16 自由記載欄(特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等)

	10 日田記戦機(特に里思的に取り組んだ内谷や)に一ル事項等)
	信州Greenでんき100%導入
ı	
•	